

秦野市のごみの現状について



令和7年6月8日 環境資源対策課

きょうのテーマ

- 1 可燃ごみ等焼却処理量の現状と目標
- 2 可燃ごみの減量に向けた食品ロス対策
- 3 ごみ処理経費について

平成27年（2015年）国連サミットで採択 SDGs（持続可能な開発目標）





12.5 廃棄物の発生量を減らす

2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する

天然資源の消費をできるだけ抑えて
環境への負荷が小さい社会を目指し、
ごみの減量・資源化に取り組んでいく必要がある

循環型社会の構築

秦野市と伊勢原市の可燃ごみ

令和5年度末まで

はだのクリーンセンター、伊勢原清掃工場の
2施設で共同処理



令和6年度以降

はだのクリーンセンター**1施設で処理**
⇒伊勢原清掃工場は老朽化に伴い閉鎖

はだのクリーンセンター 1 施設で安定的に焼却処理するためには…

➡可燃ごみの減量が必要！

秦野市では「ごみ処理基本計画」を策定

令和 1 3 年度までに

可燃ごみを約32,500tまで減量

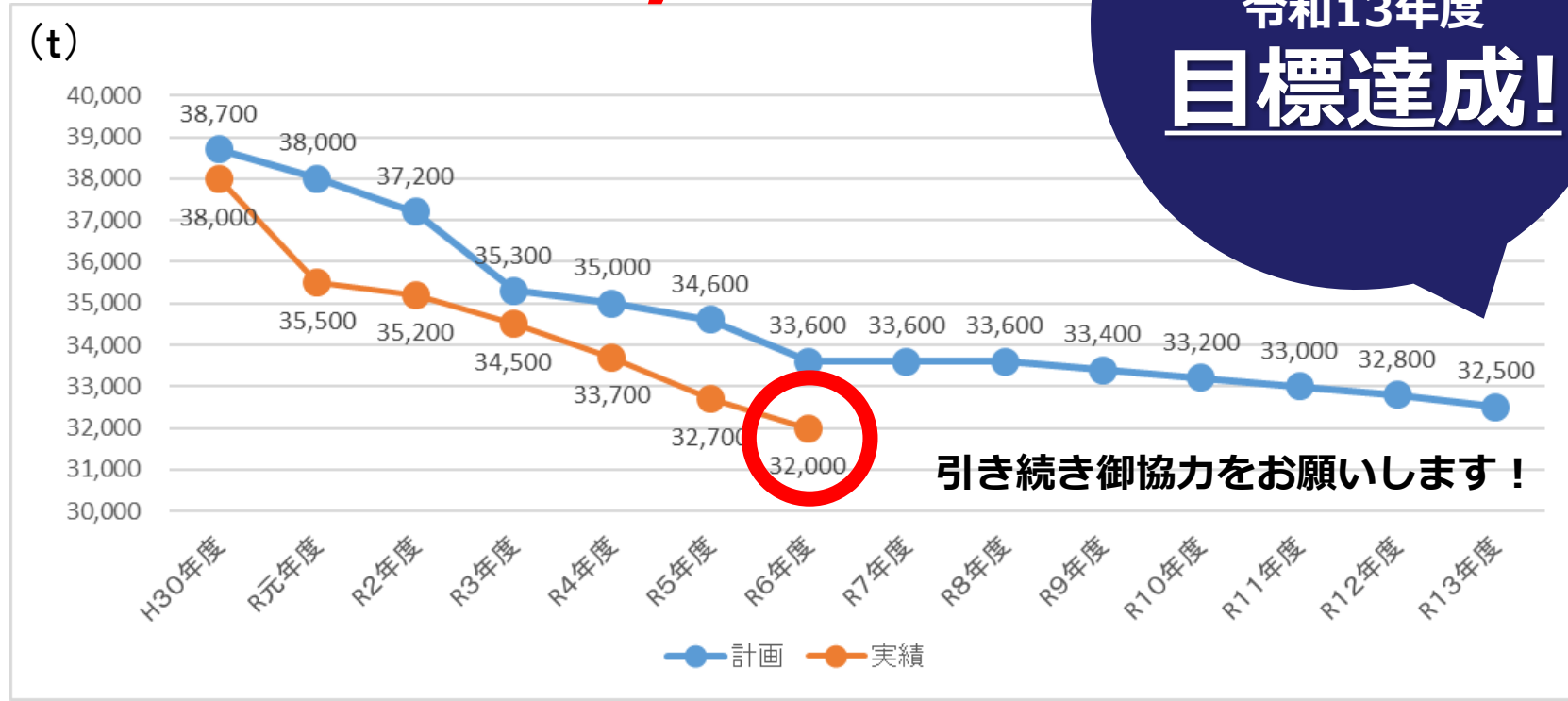
という目標を設定

計画と実績

ごみ処理基本計画上の
令和13年度目標値 **約32,500 t** 約-500t

令和6年度
実績値 **約32,000 t**

皆さまの御協力により
令和13年度
目標達成!



引き続き御協力をお願いします！

きょうのテーマ

- 1 可燃ごみ等焼却処理量の現状と目標
- 2 可燃ごみの減量に向けた食品ロス対策
- 3 ごみ処理経費について

可燃ごみを減量するためには？

- ・分別を徹底して資源化を行う
 - ・生ごみの水切りを徹底する
 - ・事業系ごみの減量を推進する
- ...など

特に

食品ロスの削減

を推進しています



「食品ロス」とは...

まだ**食べられる**にもかかわらず

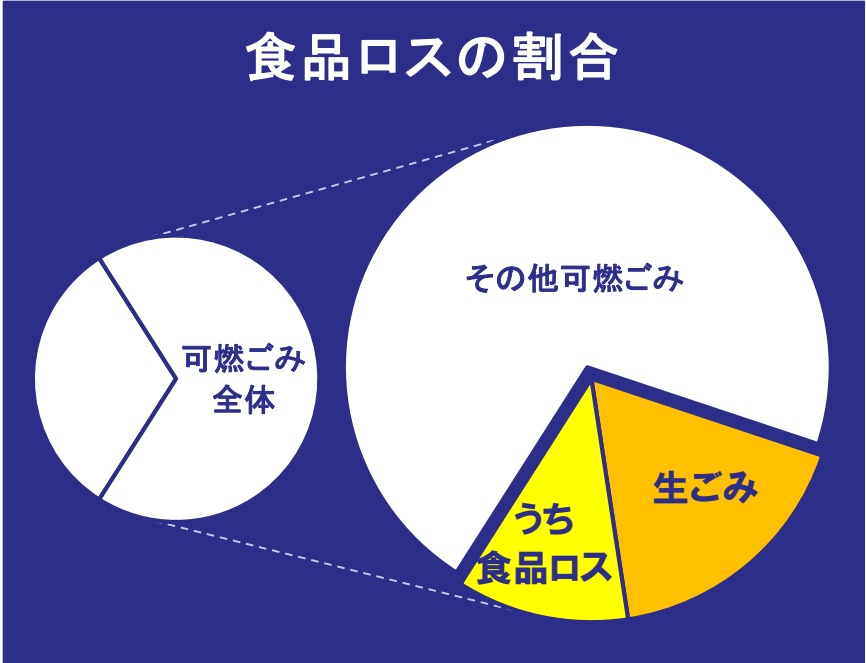
廃棄されてしまう**食品**のこと

まだ食べられるのに
廃棄された食品例



秦野市の食品ロス（令和3年度組成分析調査結果から推計）

年間 約**3,600**トン 市民一人1日当たり 約**62**g



家庭から出る可燃ごみに占める割合 約**15**%

・ 可燃ごみ（家庭系）：約**24,000** t

家庭から出る生ごみに占める割合 約**40**%

・ 生ごみ（家庭系）：約**9,200** t

食品ロス削減のために…

- 買い物前に
冷蔵庫の食材を確認！
- 「賞味期限」は
まだ食べられる！
- 食材を適切に保存して
使いきる！



きょうのテーマ

- 1 可燃ごみ等焼却処理量の現状と目標
- 2 可燃ごみの減量に向けた食品ロス対策
- 3 ごみ処理経費について

ごみ処理に係る経費

- 年間 約21億円

(ごみ処理に係る令和6年度実績見込み ※事務費等を含む)

- 市民一人あたり 約13,100円

ちなみに……

- 秦野市一般会計： 約590億円
(令和5年度決算見込み)
- ごみ処理経費が占める割合：約3.6%

ごみと資源の処理に係る経費（主なもの）

※令和6年度決算見込み

- **収集運搬：約 9億円**
（ごみ、資源物等の収集運搬に係る経費）
- **中間処理：約 2億円**
（資源の選別、圧縮、梱包等に係る経費）
- **焼却埋立：約 9億円**
（秦野市伊勢原市環境衛生組合における焼却・埋立等に係る経費）

資源の売却益 ※令和5年度実績見込み

約 1億3,000万円

- 古紙類 : 約 5,400万円
- カン : 約 3,800万円
- ハットボトル : 約 3,400万円
- その他 : 約 400万円

ご清聴ありがとうございました。

